

平成19年度（2007年度） 事業報告書

自 平成19年4月 1日

至 平成20年3月31日

目 次

平成 19 年度事業の概要	2
アカデミー教育事業	3
演奏会事業	7
音楽普及事業	8
役員会の開催状況	9

平成 19 年度事業の概要

(財)PMF組織委員会は、若手音楽家に対する世界最高水準のオーケストラ教育を軸にした音楽教育の実施と成果発表、一般への音楽普及等を目的として事業を実施している。

そしてこのことを通して次代を担う若手音楽家を育成し、芸術文化の発展向上と世界平和に貢献することを目指している。

1990年にスタートしたPMFは毎年事業内容の充実発展と安定的な事業運営に努めながら回を重ね、平成19年度で18回目を数える。

18回目のPMFには、世界各国から厳しいオーディションを経た127人の若き音楽家が集い、ウィーン・フィルやベルリン・フィルなどの首席クラスのアーティストから高い技術と豊富な経験に基づいた情熱あふれる指導を受けた。

その成果発表としての若者達の演奏は、一流オーケストラに劣らない自信に満ちた完成度の高いものとして多くの人達から評価を得ることができた。

PMFオーケストラを指導する首席指揮者には、ミラノ・スカラ座の音楽監督を務めた世界最高の巨匠のひとりであるリッカルド・ムーティを、また客演指揮者にはフィリップ・ジョルダン、アンドレイ・ボレイコの各氏を迎え、個性的で多彩な音楽を、札幌をはじめ東京、名古屋、大阪で披露し好評を得た。

ゲスト・オーケストラにはPMF修了生が20名近く在籍し、アジア地域で精力的な演奏活動を行っているフィルハーモニア台湾を招へいし、PMFで学んだ若き音楽家たちの活躍する姿を通して教育音楽祭の成果を多くの人に知ってもらうことができた。

また例年のピクニックコンサートの他、今回はPMFアンサンブル・サンデーと名づけ、ブラス、弦楽四重奏、室内楽オーケストラと様々なスタイルの音楽を一度に楽しむことのできる野外演奏会も新企画として実施し、多くの市民を魅了した。

この他、演奏会場から外へ出て公園や学校など様々な場所に出向いて演奏するアウトリーチコンサートも積極的に実施し、気軽にクラシック音楽を楽しめる機会の提供に努めた。

演奏会入場者数も野外コンサートが好天に恵まれたこともあり、過去最高の5万人を超える結果となった。

今年PMFは創設者バーンスタインの生誕90年の年、そして来年は20回目という大きな節目の年を続けて迎える。

今後さらに一層PMFが多くの人々に愛される音楽祭となるよう充実をはかっていきたい。

アカデミー教育事業

世界各国から選抜した若手音楽家に対する世界最高水準のオーケストラ教育を軸にした教育の実施及びその成果の発表を行った。

1 オーケストラ・コース ~ 合格者 115名

アメリカ、ヨーロッパ、アジア及び日本の諸都市でのライブ・オーディションとテープ・オーディションを実施し選考した。

<オーディション開催都市>

ケルン、ベルリン、ロンドン、ウィーン、ボストン、フィラデルフィア、ニューヨーク、クリーヴランド、シカゴ、サンフランシスコ、ロサンゼルス、ソウル、香港、北京、台北、シンガポール、シドニー、札幌、大阪、東京、名古屋の21都市

受験者 1,374名

ライブオーディション受験者数：1,212名
テープオーディション受験者数：162名

<コースの内容>

マスタークラス（個人レッスン / 各楽器約6時間30分～15時間50分）

オーケストラ・リハーサル（オーケストラの練習。特に三つのプログラムを練習）

室内楽のリハーサル、コーチング（アカデミー・メンバーに与えられた課題曲をグループごとに練習）

2 コンポジション（作曲）・コース ~ 合格者 2名

受験者 23名

<選考対象>

アジアの国々の国籍を有する作曲家を対象とし、提出された作品をレジデント・コンポーザーが譜面審査により選考した。

<コースの内容>

レジデント・コンポーザーによる個人指導、作曲ワークショップなどを行った。

3 弦楽四重奏コース ~ 合格者 3グループ（合計12名）

テープ・オーディションを実施し、東京クワルテットが選考した。

受験者 17グループ（68名）

<コースの内容>

レパートリーに対するコーチング（26時間30分）その他自由練習（5時間30分）

ピクニックコンサートで教授陣と共演する曲のコーチング（各グループ約8時間30分～12時間30分）

教育セミナー参加者を対象にした公開プログラム（1時間30分）

4 成果の発表

アカデミー生の練習成果は、PMFオーケストラ、PMFアカデミー・アンサンブル、PMF弦楽四重奏コース等の演奏会を開催して発表した。

演奏会回数～PMFオーケストラ8回、PMFアカデミー・アンサンブル5回、PMF弦楽四重奏コース2回、パシフィック・サウンディング（コンポジションコース・メンバーの作品演奏）1回、PMFアンサンブル・サンデー1回、ピクニックコンサート1回など。

PMFアンサンブル・サンデーでは、昨年引き続き札幌交響楽団とオーケストラコース・メンバーが共演し、小編成アンサンブルから室内楽オーケストラまで、様々な編成による演奏会を行った。

5 教授陣

(1) 首席指揮者

リッカルド・ムーティ

(2) 客演指揮者

フィリップ・ジョルダン

アンドレイ・ボレイコ

(3) PMF芸術主幹

ペーター・シュミードル

（ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団首席クラリネット奏者／ウィーン国立音楽大学教授）

(4) レジデント・コンポーザー

ヘルベルト・ヴィリ（作曲家）

(5) オーケストラ・コース

ア PMFウィーン

ヴェルナー・ヒンク（ヴァイオリン）

フーベルト・クロイザマー（ヴァイオリン）

ハンス＝ペーター・オクセンホーファー（ヴィオラ）

フリッツ・ドレシャル (チェロ)
ヴェルナー・レーゼル (チェロ)
ミラン・サガート (コントラバス)
ギュンター・フォーグルマイヤー (フルート)
マルティン・ガブリエル (オーボエ)
ペーター・シュミードル (クラリネット)
ミヒャエル・ヴェルバ (ファゴット)
ギュンター・ヘーグナー (ホルン)
ゴットハルト・エーダー (トランペット)
イアン・バウスフィールド (トロンボーン)
ローラント・アルトマン (パーカッション)
クサヴィエ・ドゥ・メストレ (ハープ)
エイドリアン・コックス (ピアノ)

イ PMFベルリン

ゾルタン・アルマージ (ヴァイオリン)
アンドレアス・ノイフェルド (ヴァイオリン)
ウルリッヒ・クネルツァー (ヴィオラ)
マルティン・メンキンク (チェロ)
クラウス・シュトール (コントラバス)
アンドレアス・ブラウ (フルート)
ドミニク・ヴォレンヴェーバー (オーボエ)
マンフレート・プライス (クラリネット)
シュテファン・シュヴァイゲルト (ファゴット)
シュテファン・ドゥ・ルヴァル・イエジエルスキ (ホルン)
ファルク・メンテンス (トランペット)
エドガー・マニャック (トロンボーン)
ライナー・ゼーガース (ティンパニ)

ウ PMFインターナショナル・プリンシパルズ

マーティン・チャリフォー (ヴァイオリン)
スティーヴン・ローズ (ヴァイオリン)
ダニエル・フォスター (ヴィオラ)
デスモンド・ホービッグ (チェロ)
ハロルド・ロビンソン (コントラバス)
ジェフリー・ケイナー (フルート)
ユージン・イゾトフ (オーボエ)
リカルド・モラレス (クラリネット)

ダニエル・マツカワ（ファゴット）
ウィリアム・カバレロ（ホルン）
デイヴィッド・ビルジャー（トランペット）
ニッツァン・ハロッツ（トロンボーン）
デイヴィッド・ハーバート（ティンパニ）
早川 りさこ（ハープ）

エ 指揮者

ルイス・ピアヴァ（フィラデルフィア管弦楽団）
川瀬 賢太郎（アシスタント・コンダクター）

(6) 弦楽四重奏コース

東京クワルテット

(7) PMF ピアニスト

赤堀 絵里子
沢木 良子

演奏会事業

開催期間中、教授陣をはじめ世界最高水準の音楽家等による演奏会を開催した。

1 演奏団体・ゲストアーティスト等

- (1) 教授陣によるアンサンブルの編成
 - ・ P M F ウィーン
　　<ブラームス クラリネット五重奏曲口短調作品 115 ほか>
 - ・ P M F ベルリン
　　<モーツァルト フルート四重奏曲第 1 番二長調 K.285 ほか>
 - ・ P M F インターナショナル・プリンシパルズ
　　<ドビュッシー フルート、ヴィオラとハープのためのソナタほか>
- (2) 東京クワルテット
　　<アウエルバッハ 弦楽四重奏曲第 2 番「Primera Luz」ほか>
- (3) 札幌交響楽団（指揮者 尾高 忠明）
　　<チャイコフスキー 交響曲第 4 番へ短調作品 36 ほか>
- (4) フィルハーモニア台湾（指揮者 ウェンピン・チエン）
　　<チャン フェスティーフ・セレブレーションほか>
- (5) ゲストアーティスト
 - ボリス・ベレゾフスキー（ピアノ）
　　<ラフマニノフ ピアノ協奏曲第 3 番二短調作品 30 >
 - ジョセフ・リン（ヴァイオリン）
　　<ブラームス ヴァイオリン協奏曲二長調作品 77 >

2 開催都市等

- (1) 北海道内
　　札幌市（札幌コンサートホール、札幌芸術の森・野外ステージ、大通公園ほか）、室蘭市、苫小牧市、旭川市、函館市、奈井江町
- (2) 北海道外 東京都、名古屋市、大阪市
- (3) 演奏会数 50 演奏会（45 公演）
- (4) 総入場者数 50,447 名（北海道内 45,224 名 / 札幌市内
　　42,820 名）

音楽普及事業

一般への音楽教育の公開その他の音楽の普及に関する事業として、聴講生プログラム、教育セミナー、青少年のための音楽会などをおこなった。

1 聴講生プログラム

中学生以上の一般の方を対象として実施しており、教授陣によるPMFオーケストラへの指導の様子やリハーサル、ゲネプロ（本番前の総練習）の聴講などができるプログラム

対象者 一般（中学生以上）

参加者 延べ167名

2 教育セミナー

全国の小・中・高校等の音楽教諭を始め、音楽教育に携わる方を対象とし、小学校での音楽教室や参加アーティストによる音楽講座、演奏会鑑賞などを実施。

対象者 学校教師、音楽教室の講師、その他音楽活動に携わる者

参加者 38名

3 PMF青少年のための音楽会

小中学生とその保護者を対象としており、青少年が本物の音楽に触れる機会を提供するための演奏会

出演 札幌交響楽団、尾高 忠明（指揮）、デイヴィット・ビルジャー（トランペット）、PMFオーケストラ・メンバー

4 会員の状況

PMFフレンズ 平成19年度末 997名（平成18年度末比76名増）

役員会の開催状況

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	結果
平成19年6月26日	1 平成18年度事業報告	承認
	2 平成18年度収支決算報告 及び監査報告	承認
	3 評議員の選任	決定
平成20年3月27日	1 平成19年度収支補正予算(案)	承認
	2 平成20年度事業計画(案)	承認
	3 平成20年度収支予算(案)	承認
	4 評議員の任期満了に伴う選任	決定
	5 理事長及び常務理事の互選	決定

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	結果
平成19年6月21日	1 平成18年度事業報告	同意
	2 平成18年度収支決算報告 及び監査報告	同意
平成20年3月25日	1 平成19年度収支補正予算(案)	同意
	2 平成20年度事業計画(案)	同意
	3 平成20年度収支予算(案)	同意
	4 理事及び監事の 任期満了に伴う選任	決定

平成19年度は重要な契約に関する事項は該当ありません。